

令和6年度 実施報告書

- ◆コミュニケーション講座
- ◆アンガーマネジメント講座
- ◆デジタルシティズンシップ教育講座



一般社団法人
共生と共育ネットワーク
Kyousei to Kyouiku Network

共生と共育ネットワークのミッション

「未来社会で活躍できる」青少年の育成

～主体的に問いを立て、多様性を受容しながら課題解決する人へ～

今後の社会の人材として求められる力として、

- ◆物事を自分事として捉える力
 - ◆問を立てる力（問題発見能力）
 - ◆多様性を受容しながら協働して問題解決のプロセスを創る力
 - ◆最適解を導く力
- …があります。

そのような人材に成長するためには、学校での段階から、物事を自分事として捉え、主体的に問題解決意欲をもって取り組む姿勢を育むことが重要になります。

■ デジタルシティズンシップ講座

【日時①】 2024年9月16日(火)

【対象】 四街道市和良比小学校 6年生

【実施数】 2コマ実施

【日時②】 2024年10月17日(木)

【対象】 八千代市立萱田小学校 5年生

【実施数】 2コマ実施

【内容】

デジタルシティズンシップの中から

- ・ネットいじめ
- ・デジタルフットプリント
- ・ネット依存

を中心に、児童たちと双方向でのやり取りをし、ネットデジタルを自分事として捉えてもらえる授業展開。

【参加児童の声】

・インターネットなどは、身近なところにあると思ったけど、一步間違えた方向にいくと自分が危ないことにまきこまれちゃうので、使い方をよく考えないとだめだと思った

・インターネットやSNSを使うときは、使用時間、言葉や表現、通信、交流など、いろいろな事に気を付けようと思った。さらにネットや現実のいじめでも、自分がぼうかん者という立場だったら、自分から行動すると変わることがあると思った

※2024年11月13日 千葉県行徳高校 高校1年生にて実施



■ コミュニケーション&アンガーマネジメント講座

【日 時】 2024年6月10日(月)

【対 象】 八千代市立萱田小学校 6年生

【実施数】 2コマ実施

【内 容】

コミュニケーション講座にアンガーマネジメントの内容をプラスした授業編成。

- ・ 怒りの正体とは？
- ・ 怒りが生まれるメカリズム
- ・ アンガーマネジメントの3つのコントロール
- ・ お互いの気持ちに寄り添い、互いを尊重するコミュニケーション



【参加児童の声】

- ・ 怒るときは、自分の怒りを相手にぶつけるのではなくて、自分が伝えたいことを言うようにしたい
- ・ なんでもかんでもイラっとしたからといって、反射的に口に出さないように考えて行動したい
- ・ 否定をしないで、みんなで共感することを活かしていきたい

■ 次年度に向けて

ワークショップの時間には周りの子と楽しそうに話し合い、大事な内容の時には静かに耳を傾けてくれて、真剣に授業に取り組んでいました。

講師からの質問にも元気に答えてくれて、こちらが元気をもらった気がします。

授業後のアンケートを見ても、授業で学んだことを活かしていきたい、といった前向きな内容が多く、普段のコミュニケーションやインターネットの使い方を考えるきっかけになっていたら嬉しいです。

時に失敗することもあると思いますが、その時は、授業の内容を思い出し、改めてより良いコミュニケーション・インターネットの使い方を心掛けてほしいと思います。

授業実施前には、先生方と打合せをして内容を構築しておりますが、実施校の要望を聞き、それぞれの学校様に寄り添った授業内容にカスタマイズして、より一層満足度の高い出前授業実施を目指し、取り組んでまいります。

